

第9回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年8月18日(月) 14:00 ~ 15:30	場所	臼杵市役所 臼杵庁舎 中会議室
団体名	合同会社FUKIDASHI(インターンシップ支援機構)		
団体概要	学生と企業が面白いと感じるインターンシッププログラムの提供を行う合同会社です。 ※インターンシップとは、学生が社会に出る前に、企業や組織で実際の仕事を体験できる就業体験プログラムのこと。		
話し合いのテーマ	学生インターンシップの受け入れなどについて		
参加者	6名(団体メンバー5名、西岡市長)		

対話の様子

対話では、学生インターンシップの受け入れなどについて活発な意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- ・ 会社の事業として、若者(学生)の声を取り入れ、企業と一緒にプログラムを組み立てる新しい形の協創型インターンシッププログラムをプロデュースしたい。そこに地域も絡めて臼杵市を盛り上げたい。若者(学生)にとっては「挑戦のきっかけ」、企業にとっては「新しい発想と若者(学生)との出会い」、地域にとっては「繋がり創出」が生まれる。
- ・ 自分自身、学生の立場で津久見市の保戸島で(FUKIDASHI関係者が企画した)インターンシップに参加した。地元の人と、最初こそ手探りの交流だったが、徐々に打ち解け最終日の報告会には26名ほどの島民の方に参加いただいた。それ以来、暇を見つけては保戸島に遊びに行っている。こうした地域との関わりを経験し、釣りという新たな趣味もでき、ライフスタイルが変わった。自分たちのような若い世代が地域にかかわって情報発信することで関係人口の増加につながればと思っている。
- ・ 今年、自分のこどもが生まれた。臼杵での子育てが楽しみな部分もあるが、人口はだんだん減ってきている。友達は多い方が良いと思っているので、我々の取組がなにか臼杵市の人口増加に繋がればと考えている。
- ・ 外国の方と話をすると、自分の生まれ育ったまちの自慢をする方が多い。大人になって生まれ育ったまちの自慢ができるよう、地域のアイデンティティを醸成するような教育が重要だと考えている。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・ わくわくする取組だと思う。地域に根差して取組をすると言う点が強く印象に残った。地域に入ること、その人の目が輝くというのは、私自身、かつて臼杵に出向で来ていた時に経験したのですごく分かる。ひとつずつがチャレンジだとは思いますが、頑張ってください。働き手が不足している中で企業側の需要もあると思う。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

